

『別れ』 作：ポチ子

『別れ』 作：ポチ子

さよなら。

それが本当のさよならになったこと、

人生で何回あるだろう。

想像よりも少ない気がするけど、

それはきつと、

さよならしたことさえも覚えていないからだ。

覚えている限りの、

最後のさよなら。

しなければ良かった、

そんなさよならなんて、

ほとんどない。

たまに思い出して、

懐かしいなって思うくらい。

別に私の人生に、

あの子は必要なかったんだ。

いま隣で話すこの子も、

別に必要じゃないんだろうな。